



ほうへいかいほう

Vol.75 2015.9.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161

C O N T E N T S

●平成 27 年度評議員会開催/ 役員改選	2
●評議員改選	3
●輝く北のまち紹介リレー 遠軽町	4
●研究室のいま 下村直樹教授	5
●OPEN SPACE	6
●第 8 回ホームカミングデーご案内	8
●平成 27 年度総会・懇親会 「同窓の夕べ」ご案内	9
●現役学生インタビュー	10
●支部紹介 伊藤組土建支部	11
●支部だより	12
●平成 26 年度事業報告/ 平成 27 年度事業計画	14
●平成 26 年度収支決算書/ 監査報告書/平成 27 年度予算	15
●クラブ・サークル活動通信/ 事務局からのお知らせ	16



平成27年度評議員会開催

事業計画など原案どおり承認

に基づき、全評議員に文書通知を行う。また新しい評議員候補者については、各学部意向と同窓会活動への参加等を参考に、して委嘱を行う事等が説明され、原案通り承認された。

第1号議案

平成27年度の同窓会評議員会が6月25日(木)午後6時から札幌パークホテルで開催された。卒業期78名、地域・職域支部46名の評議員計124名(委任状含む)と同窓会役員47名(委任状含む)が出席した。

開会後、物故会員に対する黙祷ののち、次第により会議に入った。森本正夫同窓会会長の挨拶があり、議長に板垣俊夫氏(法学・昭和46年卒)、副議長に桑山和夫氏(経済・昭和46年卒)、議事録署名人に卒業期から高野勝義氏(経済・昭和42年卒)と地域・職域支部から澤定夫氏(経済・昭和31年卒・関西支部長)を選出し議事に入った。

第2号議案

平成26年度事業報告並びに収支決算について、事務局の大橋孝行(経済・平成3年卒)と佐々木啓明(工学・平成3年卒)から報告が配布の別紙資料に基づいて行われ、それを受けて会計監事を代表し横谷貞夫氏(短大士II・昭和39年卒)から監査報告が行われ、原案通り承認された。

第3号議案

平成27年度事業計画(案)並びに予算(案)について、事務局の大橋孝行と佐々木啓明から配布の別紙資料に基づき説明が行われ、原案通り承認された。

第4号議案

評議員の改選について、森本会長より配布の別紙資料に基づき、会則12条に基づき、評議員の任期が平成27年6月29日で満了する事に伴い、評議員選出規定

第5号議案

教育支援振興資金(奨学金)について、配布の別紙資料に基づき報告が行われた。北海学園大学同窓会奨学金規定並びに北海学園大学同窓会奨学支援実施細則に基づき、第1種同窓会奨学金は大学の選出した奨学金候補者について同窓会の選考委員会が審議を行い、別紙の通り決まったことを報告。本案は原案通り承認された。

第6号議案

60周年記念事業終了報告、配布の別紙資料に基づき60周年記念事業の終了したことが報告される。尚、記念誌は現在、最終校正の段階となっており、配布については、今年の同窓の夕べの出席者全員に配布を予定している事が報告され、本案は原案通り承認された。

第7号議案

その他、幹事を退任する江川久洋さんと中村孝さんに感謝状と記念品が森本会長より贈呈された。(評議員会資料は14・15頁に掲載)

同窓会役員改選

任期満了に伴う役員改選で次のとおり決まりました。任期は、平成27年6月28日から平成30年6月27日までです。◎印は新任、他は再任

- | | | |
|-----|--------------------|--------------------|
| 会長 | 森本 正夫 (経Ⅰ・2期昭30) | ◎片岡 廣幸 (法Ⅰ・14期昭55) |
| 副会長 | 名塩良一郎 (経Ⅰ・2期昭30) | 松沢 秀明 (法Ⅰ・15期昭56) |
| | 関 寛 (法Ⅰ・4期昭45) | ◎成田真利子 (法Ⅱ・17期昭58) |
| 幹事 | 宮本 雅次 (工土・1期昭47) | ◎石田 俊平 (法Ⅰ・22期昭63) |
| | 宮崎 文彦 (経Ⅰ・3期昭31) | 壽見 光昭 (法Ⅰ・23期平元) |
| | 桑山 博年 (経Ⅰ・6期昭34) | 長谷川裕詞 (法Ⅰ・27期平5) |
| | 小川 真治 (経Ⅰ・8期昭36) | 佐藤 礼仁 (法Ⅰ・29期平7) |
| | 桂田 泰宏 (経Ⅰ・8期昭36) | 船本 弘美 (法Ⅱ・39期平17) |
| | 片桐 理 (経Ⅰ・10期昭38) | 関 ひとみ (人Ⅰ・1期平9) |
| | 似鳥 昭雄 (経Ⅰ・13期昭41) | 馬場 康広 (人Ⅰ・4期平12) |
| | 杉山 隆俊 (経Ⅰ・13期昭41) | 佐藤 進一 (工土・1期昭47) |
| | 多田 康郎 (経Ⅰ・13期昭41) | 須田 勝一 (工土・3期昭49) |
| | 日和 哲志 (経Ⅰ・21期昭49) | 山本 秀康 (工土・6期昭52) |
| | 米田由美子 (経Ⅰ・37期平2) | 津島 慧 (工建・1期昭47) |
| | 藤原 佳世 (経Ⅰ・41期平6) | 白鳥 健志 (工建・2期昭48) |
| | 吉野 圭子 (経Ⅰ・44期平9) | 城 秀夫 (工建・3期昭49) |
| | 大澤 定雄 (営Ⅰ・2期昭45) | 濱川 俊久 (工建・8期昭54) |
| | 堀田 昌資 (営Ⅱ・2期昭45) | 高橋 奈帆 (工建・25期平8) |
| | 瀬戸 軍平 (営Ⅰ・6期昭49) | 越前谷 博 (工電・1期平3) |
| | 小林米三郎 (営Ⅰ・17期昭60) | 監事 |
| | ◎澁谷 政憲 (営Ⅰ・26期平6) | 横谷 貞夫 (短大Ⅱ・1期昭39) |
| | ◎左近 秀章 (営Ⅱ・28期平8) | 高岡 昌和 (経Ⅰ・7期昭35) |
| | ◎坂口 幸司 (営Ⅰ・32期平12) | 榎田 久 (経Ⅰ・12期昭40) |
| | 石澤 勝明 (法Ⅱ・3期昭44) | 事務局長 |
| | 村口 康博 (法Ⅰ・10期昭51) | 高田 哲也 (経Ⅰ・12期昭40) |
| | | (幹事) |

同窓会評議員改選

任期満了に伴う改選で次のとおり決まりました。任期は、平成27年6月30日から平成31年6月29日までです。◎印は新任、他は再任

Table with 2 columns: 卒業者 (Graduates) and 氏名 (Names). Includes names like 小林 稔昌, 松下 良春, etc.

Table with 2 columns: 卒業者 (Graduates) and 氏名 (Names). Includes names like 上野 一也, 伊藤 一志, etc.

Table with 2 columns: 卒業者 (Graduates) and 氏名 (Names). Includes names like 山田 基, 細久 克博, etc.

Table with 2 columns: 支部 (Branches) and 氏名 (Names). Lists various branches like 空知支部, 十勝支部, etc.

Table with 2 columns: 氏名 (Names) and 支部 (Branches). Lists names like 立花 聡, 石川 由意, etc.

Table with 2 columns: 支部 (Branches) and 氏名 (Names). Lists branches like 道南支部, 旭川支部, etc.

長い間ご苦労さまでございました

【退任役員】 江川 久洋 幹事 平成27年6月27日付 中村 孝 幹事 平成27年6月27日付 山崎 敦史 幹事 平成27年6月27日付 今回退任されます江川久洋さんは、同窓会結成間もない昭和32年から58年間の長きにわたり、中村孝さんは、平成3年から24年間にわたり、山崎敦史さんは、平成21年から同窓会事業に尽力、貢献されました。 長年の功績を讃え江川さんと中村さんに森本会長より感謝状が贈呈されました。



森本会長より感謝状の贈呈



花束を受け取る江川さん(右)と中村さん

輝く北のまち 紹介リレー

えんがるちょう
⑥ 遠軽町

～地区の魅力を繋げてまちづくり～



北海道内の町を訪問し、卒業生とのインタビューを通じて、町のご紹介をしながら町の魅力を再発見していく企画の第6回目は遠軽町です。

盛夏の7月17日、札幌から旭川に向けて道央自動車道・旭川紋別自動車道を走り丸瀬布インターチェンジを抜けて遠軽町に到着し、遠軽町役場にて佐々木修一町長からお話を伺いました。

～北海道自然百選「がんぼういわ瞰望岩」と白滝ジオパーク～



佐々木修一遠軽町長
(昭和56年経済学部経営学科卒業)

遠軽町は、平成17年10月に平成の大合併をしました。かつては分かれた丸瀬布町、白滝村、生田原町、遠軽町がまたひとつに纏まりました。

現在は、旧町村の特徴的なものを活かしながらまちづくりを進めています。

遠軽地域に入ると左手に現れる高さ約78mの巨大な岩が瞰望岩です。

瞰望岩は、アイヌ語で「インカルシ」と言われ、見張りをすると、眺望するところという意味です。岩の頂上の近くまでは車で行けて、頂上からは遠軽町内を広く見渡すことができます。天気の良い日はオホーツク海まで見えます。

白滝地域には「白滝ジオパーク」があります。白滝地域周辺では、約220万年前に火山の巨大噴火が起こった際に黒曜石が生まれました。これは、地質遺産としての価値があります。白滝の黒曜石は、サハリンや青森県にまで広がっており、三内丸山遺跡(青森県)では矢じりが発見されています。日本ジオパークに指定されて4年経ちますが、近いうちにユネスコの正式な指定も受ける予定です。

～地域の魅力が輝くまちを繋げる～

丸瀬布地域には「丸瀬布森林公園いこいの森」があります。公園内には、北海道遺産の「森林鉄道蒸気機関車・雨宮21号」が約2kmの鉄路を走っています。かつて実際に木材運搬用に使用していた蒸気機関車です。是非一度乗車してみてください。また、すぐそばには「丸瀬布昆虫生態館」があり、冬でも昆虫たちが飛び交っています。ここには俳優の哀川翔さんも時々訪れてくれています。

遠軽地域には「太陽の丘えんがる公園」があり、日本で最大級規模の10haのコスモス園があります。最初は牧草地だったところにコスモスを植えて、今では約1,000万本に広がりました。

明朝は、午前7時から町民約500人が集まり、皆で草取りのボランティアに励みます。学校や職場からボランティアの皆さんも作業をしてくれます。秋には可憐なコスモスが満開になり、町民の皆さんの温かい気持ちでコスモス畑が維持されています。

他にも、白滝地域をスタートする「湧別原野オホーツク100kmクロスカントリースキー大会」は、日本最長の100kmリレーを開催しており、また、生田原地域には、世界の木のおもちゃを集めた「ちゃちゃワールド」があり、影絵で有名な藤城清治さんの作品などが飾られています。

各地域にいろいろな魅力がありますので、今後もそれらを連携させてまちの発展に繋げていきます。

さらに、遠軽高校の野球、ラグビー、吹奏楽での活躍も、少子化

の時代において希望の光となっています。才能のある子供達の能力を伸ばしていく環境を今後も充実させていきます。

～広域における遠軽町の役割～

本年3月、まちの総合計画を策定しましたが、地方再生における人口ビジョンを都道府県で検討するうえで、地方版の総合戦略も作っていくことになりました。

まちの特徴としては、医療・教育を中心とした遠軽紋別地方の中心地としての大きな役割があります。

遠軽町で一次産業の占める割合は9.5%です。しかし、オホーツク管内としては、一次産業である農林水産業は北海道では一番か二番なのです。森林面積の比率が高く遠軽紋別地方では約半分近くを占めています。

北海道における農業生産高は、十勝が一番でオホーツクが二番です。オホーツク圏の一次産業が崩れることは北海道の一次産業の崩壊につながります。現在、北海道の一次産業は大変厳しい状況にあります。負けない気持ちで前に進んでいきます。

遠軽町は、小さな町ではありますが地域の中心地としての役割を果たしていくまちといえます。

～地域医療における問題点と課題～

遠軽厚生病院は、二次医療機関の中でセンター病院となっており、年間約350人が出生しています。しかし、近い時期に産婦人科医3名のうち、2名が旭川医大に戻る予定です。近隣の自治体からの利用者が多い現状の中で、医師の確保が大きな問題となっており、関係機関への要望はしていますが、なかなか厳しい現状にあります。一次産業を続けていくためにも、医療の充実は欠かせません。

～全ては大学のスキー部から～

大学在学中は、現代経済理論の柴田ゼミでした。

体育会スキー部での学友達には大変お世話になりました。何とか4年で卒業が出来たのも友人達のお蔭です。

北海学園大学は、スポーツの推薦入学がない大学ですから、全国大学選手権(インカレ)では、入学当初は1部～4部までであるうち最下位の4部でした。ところが、同級生の中に強い選手がいたために、3年生のときに奇跡的に2部に上がりました。

当時はエースもいましたが、チームのためには自分の希望種目を変更して、頑張りました。スキー種目は、アルペン、大回転、ジャンプなどの総合点で競うのですが、私はアルペンの選手でしたが、ジャンプ競技にも参加しました。

どの部員も自分のことよりもチームのことを優先して考え、チームのために一致団結しました。それは、現在の私の基礎を作っています。

ある意味、学園のスキー部が全てを教えたということです。

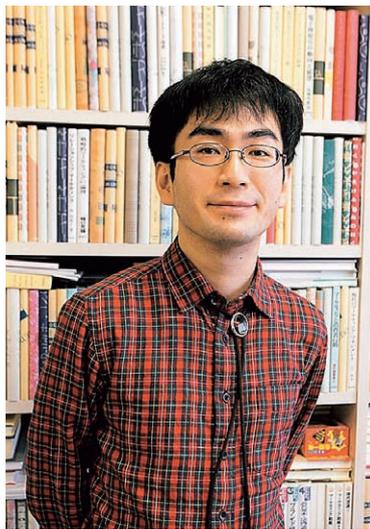
ゼミでお世話になった柴田先生が、スキー部でも顧問として私達部員を励ましてくれました。

～打ち込むものを見つけよう！～

大学の4年間というのは大人の手前の大事な時期であり、いくらでも時間があつていろいろな経験が出来る時であるから、何かひとつでもいいので打ち込むものを見つけ頑張って欲しい。

私は大学時代にスキー部の活動を通じて培ったものが、現在の町長としての仕事の基礎となっています。学生の皆さんも部活を含めて様々な場面での修練を重ねることが必要です。

それはきっと人生に役立つ意味のある経験となります。



経営学部経営学科教授

下村 直樹

—担当科目

学部 マーケティング・コミュニケーションⅠ・Ⅱ、
演習Ⅰ・Ⅱ、特別演習、卒業研究
大学院 マーケティング・コミュニケーション特殊講義、
マーケティング・コミュニケーション特殊講義演習

- 経歴 2002年北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程修了（博士【経営学】）。
同年北海道大学大学院経済学研究科助手、2003年愛知学院大学商学部専任講師、
2006年本学経営学部専任講師、2007年本学経営学部准教授を経て、2013年より現職。
- 所属学会 日本商業学会（幹事）、日本広告学会（評議員）、日本消費者行動研究学会、日本広報学会、
日本経営学会、北方マーケティング研究会
- 主な業績（学会発表）「物語広告による自己参照 —自伝的記憶とメンタル・シミュレーション—」、
第64回日本商業学会全国大会（一橋大学）、2014年6月
（論文）「記号論とマーケティング・コミュニケーション —IMCとの関係づけ—」
『日経広告研究所報』（日経広告研究所）、第261号、2012年2月

私は本学に2006年4月に赴任し、今年の4月で10年目を迎えました。これまで私のゼミからは2015年3月末時点で26名の卒業生を送り出してきました。現在は3・4年次開講のマーケティング・コミュニケーションⅠ・Ⅱ（2017年度より、Ⅰが広告論に、Ⅱがマーケティング・コミュニケーションにそれぞれ名称変更）という専門科目の講義を担当していますが、毎年経営学部3年生の内、5～10%の学生だけが受講するという、屈指の受講生の少なさで、自分の試験の採点では楽をさせていただいています。

マーケティング・コミュニケーションという科目、というか、マーケティング・コミュニケーションという言葉に耳なじみのない方が多いと思います（そもそも、マーケティングという言葉も販売と同じと思われて、あまり正しい理解がされていませんが）。ごく簡単にいいますと、これは企業や組織の広告活動を指す言葉です。広告活動とはいっても、マスメディアや公共の場・交通機関を使って行われるものだけではなく、小売店や飲食店で行われる販売促進、PR（実はこれを読んでいる大多数の方が思っているPRとは違います！が、書くとき長くなるので省略します）、他にも、営業活動、くちコミなども含まれます。

担当科目、また、私の専門が広告ということもあり、ゼミでも広告に関する勉強を2年生から4年生まで3年間続けています。ゼミの活動としては、他のゼミと同じように教科書の輪読・グループ研究、独自のものとしてはコマース動画の制作を行っています。その中で比重を占めるものとして、『北海道×HGU.ch』があります。「ほっかいどう・えいちじーゆー・ちゃんねる」と読みます。これは北海道総合政策部知事室広報広聴課と北海学園大学経営学部下村ゼミ3・4年生が協働で取り組んでいるプロジェクトで、北海道の政策や道庁での実際の活動の様子を学生自らが企画・撮影・編集することで1テーマ1本の動画を制作し、北海道庁インターネット放送局から発信するというものです。学生の目線を通じて道庁の活動を伝えることで、動画の視聴者や道民の方々に道庁に対する関心を持ってもらうことを目的としています。

このプロジェクトは、2013年の8月に学校法人北海学園と道庁との間で包括連携協定が結ばれたのを期に、2014年の2月から始まりました。この原稿を書いている今年の8月時点では25本の動画が公開されています。お時間のある方はインターネットで『北海道×HGU.ch』を直接検索するか、北海道庁インターネット放送局『Hokkai・Do・画』のホームページの上のほうに『北海道×HGU.ch』のバナーが貼ってありますので、クリックしてご覧になってみてください。最近だと、プロ野球北海道日本ハムファイターズ



協力団体スタッフ（右端）による学生への指導

の『We Love Hokkaido Series 2015』を応援する動画を作成し、7月10～12日に試合開始前の札幌ドームの大型ビジョンでも放送されました。制作した動画によっては、道庁が開催するイベントでも使われています。

このプロジェクトで難しいところは、学生がそもそも北海道庁でどんな活動をしているのかをほとんど知らないという点から動画の企画をすることです。そもそも公務員志望の学生がほとんどいないこともあるかもしれませんが、学生の関心が薄いか全くないところから企画が始まります。このような状態なので、このプロジェクトの担当の道庁職員の山口尚基さん（本学OB、現在NTT東日本）、五十嵐智博さんには、学生（並びに、私）からの（たまには無理とも言える）要望への対応と関係部署や外部団体への調整をいただき、大変な面倒を掛けています（また、それ以上の感謝もしています）。動画のテーマとして何を選ぶか、これは主に私が決めているのですが、様々な活動の中から学生が興味を持って取り組めるものを探していくのも難しい点です。さらに、完成した動画も質が高いものあれば、全くそうでないものもあるため、動画の内容というよりも質が一定しないことが一番の悩みの種です。学生は彼・彼女たちなりに取り組んでいると思うのですが…

このプロジェクトを通じて学生には、昨今言われているコミュニケーション能力の向上だけでなく（昨年までの学生に関しては残念ながら向上していないという声も？）、自分の伝えたいことをうまくメッセージにすることができないという情報発信の難しさを実感してほしいと思っています。それでは、伝えたいことを伝えるためにはどうしたら良いのか？これが『北海道×HGU.ch』を通じて考え、実践していく学生自身のもう1つのテーマになっています。



撮影した動画を編集中



大通公園テレビ塔前での撮影準備



すすきの交差点ラフィア前で撮影中

北海学園大学同窓会奨学生認定証授与式

北海学園大学同窓会第Ⅰ種奨学金の給付が開始され、7月7日(火)、同窓会役員、学長、学部長が同席して、森本同窓会会長より奨学生に認定証が授与されました。

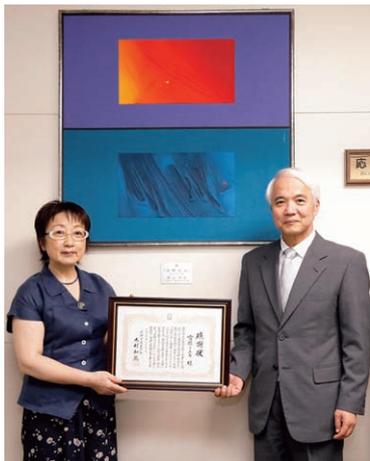


第Ⅰ種奨学金給付学生		
経済学部1部経済学科	3年	堀川 慶乃
経済学部1部地域経済学科	2年	河野 尚弘
経済学部2部経済学科	4年	只野 優平
経済学部2部地域経済学科	3年	藤井 裕亮
経営学部1部経営学科	2年	會澤 絢権
経営学部1部経営情報学科	2年	仲田 直矢
経営学部2部経営学科	2年	鮫村 優希
法学部1部法律学科	3年	伊藤 聖揮
法学部1部政治学科	2年	毛利 真
法学部2部法律学科	4年	楠 未明子

第Ⅰ種奨学金給付学生		
法学部2部政治学科	3年	庄司 嵐
人文学部1部日本文化学科	4年	岸 香菜子
人文学部1部英米文化学科	4年	鈴木 竜馬
人文学部2部日本文化学科	4年	澤口美七海
人文学部2部英米文化学科	4年	澤田 宜己
工学部社会環境工学科	3年	長谷川裕耶
工学部建築学科	3年	小林みずほ
工学部電子情報工学科	2年	丸山 周史
工学部生命工学科	4年	中野 尚也

大学へ絵画寄贈

画家の故高山洋夫氏(昭和40年経済学部卒業)のご遺族から大学へ氏の作品「沈黙の光」が寄贈され、木村学長よりご遺族へ感謝状が贈られました。



第1回三浦文学全国移動展

～三浦綾子記念文学館 所蔵物展示～

日時 2015年10月10日(土)
10:00～17:00

入場
無料

場所 豊平キャンパス7号館1階エントランス

——三浦綾子が描いた戦争を
『銃口』の作品展示を通して伝える——

終戦70年特別展 三浦綾子の描いた戦争

三浦綾子さんは、太平洋戦争中、小学校の教師をされていました。小国民の教育に邁進していましたが、終戦で苦悩と後悔、そして挫折を味わいます。戦争の時代といわれた昭和、「わたしの体験を若い世代に伝えたい」との思いから『銃口』が生まれました。展示をきっかけに今一度、平和について、そして、特定秘密保護法の施行、集団的自衛権の行使、憲法改正について戦争を体験した世代も知らない世代もいっしょに考える機会にしたいものです。

OPEN SPACE

オープンスペース

第 61 回 対東北学院大学総合定期戦

今回で第 61 回となった東北学院大学対北海学園大学総合定期戦が6月26日(金)から28日(日)の3日間、札幌で開催されました。

今年は19の公式種目で熱戦が繰り広げられ、両校の絆を深めました。本学はアメリカンフットボール、少林寺拳法、卓球(男子)、羽球(男子)、ボクシングの種目で勝利を収めました。総合成績では本学5勝、東北学院大学が14勝となり、またしても初優勝は持ち越しとなりました。



本学学生が協力し豊平地区 AED マップ作成

本学の学生と豊平地区町内会連合会が協力して作成した「豊平地区町内会連合会 AED マップ」が3月20日(金)に完成しました。このマップは地域に住む方が緊急時に AED が使えるように、豊平地区内の設置場所を確認してもらうために作成されました。

北海学園大学マチブラ部(部長 人文学部日本文学専攻2年 小林京輔さん)の学生7人と町内会連合会の方が実際に地区内の設置場所を見て回り、その情報を集約し学生が情報を地図に落とし込んで5ヵ月の制作期間をかけて作成をしました。

(※マチブラ部は大学公認の部ではありません。)



全国支部長会議

平成27年度「全国支部長会議」を10月24日(土)12:00より、札幌パークホテル3階「エメラルド」で開催いたします。

詳細につきましては、各支部長へ開催案内をお送りします。

YOSAKOI ソーラン祭り 優秀賞受賞

第24回YOSAKOIソーラン祭り(6月10日~14日)において本学の「粋~IKI~北海学園大学」チームが、「舞い踊れ~奏でる心意気~」をテーマに若さ溢れる踊りを披露。ファイナル審査に進み見事優秀賞を受賞しました。



本学 OB が人命救助

1月27日(火)午前7時ごろ、本学OBの長谷川裕詞さん(平成5年法学部卒業・同窓会幹事)が、地下鉄のホームから男性が転落するのを目撃。地下鉄到着間際のなか、居合わせた乗客らとともに男性を救助しました。4月17日(金)に豊平消防署で感謝状が贈呈されました。

文部科学大臣表彰科学技術賞受賞

旭川工業高等専門学校 教授 谷口牧子さん(平成9年大学院法学博士課程修了)が、「知的教育の理論的及び実践的研究と普及啓発」の貢献を認められ、科学技術賞(理解増進部門)を受賞されました。

町長選で再選

訓子府町長選が4月21日(火)に告示され、菊池一春氏(昭和45年経済学部卒業)が3選を果たしました。

ご寄付

江川久洋氏(昭和32年経済学部卒業・同窓会前幹事)より同窓会へ金10,000円のご寄付をいただきました。

第8回

主催/北海学園大学・北海学園大学同窓会

予約不要

ホームカミングデー

2015年10月10日(土)

受付 9:30~13:00

受付場所 7号館1階 エントランス

開催 10:00~14:30

会場 北海学園大学 豊平キャンパス
地下鉄東豊線「学園前」駅下車 3番出口直結

卒業生・ご家族・一般の方も参加いただけるイベントです。
この機会にぜひお越しください!!



※学内には駐車場がございません。
公共交通機関をご利用ください。

第3回 学園かえるカフェ

●時間……10:00~12:00

●場所……7号館2階D20番教室

羊飼い、ときどき、作家

三浦綾子文学賞作家・
河崎秋子の世界

「学園かえるカフェ」第3回は、2014年に『颯風の王』で三浦綾子文学賞を受賞した本学OGの河崎秋子さんがゲストです。羊飼いをしながら執筆活動をされている河崎さんに創作の源や酪農との両立についてお話いただきます。当日は、受賞作『颯風の王』の販売とサイン会も開催します。



話し手: 河崎秋子 (作家、羊飼い、経済学部卒業生)

聞き手: 田中 綾 (人文学部教授)

古林英一 (経済学部教授)

進行: 樽見弘紀 (法学部教授)



河崎秋子さんプロフィール

根室管内別海町出身。大学卒業後、ニュージーランドで約1年間綿羊生産を学ぶ。帰国後道内農業実習を経て実家の牧場で酪農と羊飼いを担当。自家製チーズの販売を担当。2012年小説『東郷遺事』で北海道新聞文学賞(創作・評論部門)受賞、2014年『颯風の王』で三浦綾子文学賞受賞。

第1回三浦文学全国移動展を同日本学で開催します。詳細は6頁目をご覧ください。

無料カイロ施術

●時間……10:00~16:00

●場所……生協食堂スペース

毎年大好評のカイロ施術を今年も日本カイロプラクティックドクター専門学院札幌校の協力で無料提供いたします!!
評判のカイロ施術を是非ご体験ください。



北海マルシェ (学園大OBによる産直野菜・果物即売会)

●時間……11:30~13:00

●場所……7号館前特設テント

江別産朝採り野菜と余市産朝採り果物を市価よりも安く販売します!!

じゃがいも、にんじん、たまねぎ、かぼちゃ、キャベツ、白菜、長ネギ、りんご、ぶどう、ほか
(天候により商品が変更になる場合がございます。予めご了承ください。)



学食 de ランチ

●時間……12:00~14:30

●場所……生協食堂

ご来場のみなさまに当日学食でご利用いただける食事券を配布します。



写真部OB会写真展

10月10日~12日(3日間)

●時間……11:00~17:00

●場所……1号館1階
入試部前スペース



食事券配布 7号館1階受付

配布時間 9:30~13:00

今年も3日間開催します!

北海学園大学同窓会「豊平会」平成27年度総会・懇親会

同窓の夕べ

FREE FORMLESS JAZZ ORCHESTRA

今年も
一期一会の
ひとときを！

同窓生8万余の思い出を
乗せて奏でる



日時 平成27年10月24日(土)

●受付/17:30~ ●総会/18:00~18:30
●懇親会/18:30~20:30

●入場者全員に
60周年記念誌を贈呈します。

会場 札幌パークホテル 3階「パークホール」(着席制・会場内禁煙)

札幌市中央区南10条西3丁目 TEL 011-511-3131

会費 5,000円(税込)

●司会/松沢 秀明・吉野 圭子・森 基誉則・青山 千景
(司会者は全員本学OB・OGです。)

会券のお求めについて

大丸プレイガイド、道新プレイガイド、北海学園生協書店G'book'sレジカウター(教育会館2階、通常営業時間:月~金/10:00~18:30、土/10:00~13:30、日祝/閉店。※学事によって営業時間が変更されることがあります。)にて販売いたします。また、卒業期評議員、地域・職域支部評議員、各学部世話人、協力団体、同窓会事務局へお問い合わせください。 ※当日券もあります。

会券発送ご希望の方は、下記金融機関にて代金をお振込みいただき(振込手数料についてはご負担願います)、ご入金確認後、発送いたします。

- ・北洋銀行 豊平支店 口座番号/普通0511055 口座名/北海学園大学同窓会
- ・ゆうちょ銀行 二七九店 口座番号/当座0011355 受取人名/北海学園大学同窓会事務局

詳しくは同窓会事務局へお問い合わせください。

●お申込み・お問い合わせ先

北海学園大学同窓会事務局

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

TEL (011) 841-1161(代) 担当/三宅(内線1148)・工藤(内線1168)

FAX (011) 816-1001

E-mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp

平日/9:00~17:00(昼休み12:00~13:00) 土曜/9:00~12:00



お楽しみイベント

新旧バンド競演! (賛助出演/OB・現役学生)

Likely Faces [カントリー&ウエスタン研究会OB]

&

フリーフォームレス ジャズオーケストラ

学園グレイトビンゴ 海外ペア旅行、温泉旅行ペア宿泊券、折りたたみ自転車など豪華景品が多数!



現役学生インタビュー

岩崎 将大さん (人文学部日本文学学科4年)

アタック25優勝とヨーロッパ旅行、学生時代に2つの夢が実現できた！

——昨年4月にパネルクイズアタック25に出演したそうですね。

アタック25は、幼稚園のときから毎週母と見ていて特別な思いがありました。いつか出たいと思っていました。それと、学生時代にヨーロッパに行きたいと思っていて、アタック25で優勝すれば、どちの夢も叶えられると思って(笑)。もちろん、優勝できるとは思っていませんでしたが、自由な時間がある学生のうちに応募してみようと。予選会では、筆記試験と簡単な面接



出場した際に掲示されていたネームプレートを手に。全国に本学の名前を知らしめた

がありました。筆記試験は、あまり出来がよくなくて、番号を呼ばれないなどあきらめかけていたときに呼ばれて、ホッとしてました。面接は、1分くらいの自己PRで、江別出身、北海学園大学在学、野球が好きというところが、なんとか本戦出場できました。

——それで、優勝したわけですね。

朝日放送なので大阪での収録でしたが、行ってみると学生大会というくくりで、京都大、名古屋大、筑波大の学生と戦いました。出るだけで目標達成という感じだったので、1問でも多く答えて少しでも長く映つてやろうと思つて、とにかく積極的にいったのがよかったです。25枚のパ

ネルのうち17枚取ってトップ賞を取ることができました。その一方で、食事ものを通らなくて、胃が痛くなるような、極限の緊張感も初めて味わいました(笑)。

——トップ賞を取ると、イギリスの豪華客船クイーン・ヴィクトリアで行く地中海クルーズ・ペア10日間の旅をかけた映像問題に挑戦できるんです。F1レーサーの小林可夢偉さんが答えだつたのですが、収録前に母と電車で尼崎を通つたときに、尼崎出身の有名人はダウンタウンと小林可夢偉という話をしていたこともあつて、すぐに答えが浮かび(笑)、ラッキーでした。それが、年間で獲得パネル枚数上位12名が進む年末のチャンピオン大会にも出ることができました。

結果は、テレビで見ると知らせないでという人が多かつたのですが、友人はみんな祝つてくれました。それ以外の反響はあまりなくて、僕は大学を背負つて出たつもりだったので、ちよつとさびしい気持ちでいました(笑)。

——地中海クルーズは？

スペイン、フランス、イタリアを見て、初めてのヨーロッパはなにもかにも素晴らしく、驚きの連続でした。船旅もすごく豪華で、母親を連れていき、とてもいい親孝行ができました。船では、2回ほど正装のパーティーがあつたのですが、せっかく行くのだからと思つて安いタキシードを新調しました(笑)。この旅行で一緒だった8組のチャンピオンとも交流できて、いまも連絡を取り合っています。

僕は英語が全然ダメなので、せつかく行つたのだからと、とにかく知っている英語でどんな話しかけるようにして、意外と通じたことに驚いていました。気持ちは、言葉だけじゃなくて、表情や身振り手振りでも表せると思うので、とにかく積極的に話しかけ、コミュニケーションを図ることが大事なんだなど実感しました。



——チャンピオン大会は？

チャンピオン大会は2週にわたつて放送されたのですが、12名が3組に分かれて行う予選で敗退しました。相手はみな優勝者、クイズ研究会などクイズをバリバリにやっている人ばかりで、押すスピードも速く、問題の先読みをできる人に、全然歯が立ちませんでした。それでも、優勝できて、ヨーロッパに行くこともできて、チャンピオン大会にも出場できたのだから、悔いはありません。この素晴らしい経験を学生時代にできたのは、これからの人生に絶対にプラスになるし、自分でも誇れるできごとになったと思います。

——卒論、就活の時期ですね。

せつかくこういう経験をさせてもらったので、卒業研究では、

以前は多かつた視聴者出演型の番組が最近少なくなつてきているのはなぜか、そしてそういう番組を復活させるためには番組制作上どういう工夫が必要かというのをテーマにしようと考えています。大石和久先生のゼミなので、当初は映画をテーマにするつもりでしたが、自分にはできないテーマだと思つて取り組んでいます。

僕は、高校までサッカー部で、野球もすごく好きだったので、スポーツ新聞などの記者ができればいいなと思つていて、日本文学学科が近道だと考えて入学しました。就活では、テレビ局も志望したのですが、ダメだったので、いまは新聞社を第一希望に就活しています。あとは、父が警察官で、昔から興味はあつたので、試験を受けて結果待ちをしているところです。

——どんな社会人になりたいと思つていますか？

人とのコミュニケーションをしっかりと取つていくことがいちばん大事だと思つています。そして、何ごとにも積極的に取り組んでいく姿勢を持ち続けたいかなければならないと思つています。そうして、上からも下からも慕われる社会人になりたいですね。



支部紹介

伊藤組土建支部

北海学園大学同窓会「豊平会」の各支部を紹介します。
平成15年に支部となった職域支部で、ルーツは昭和46年スタートの「学園会」です。

創立：平成15年

〈支部長〉

山下 齊之 (やました ひろゆき)
昭57年卒 工学部土木工学科



山下 齊之 支部長

伊藤組土建支部役員と学園会役員

伊藤組土建支部：支部長：山下齊之

評議員：本吉幸二

伊藤組土建学園会：会長：矢野照夫

幹事長：山下齊之

会員数：41名

連絡先：〒060-8554

札幌市中央区北4条西4丁目1番地

伊藤組土建株

TEL. 011-241-8477

〈事務局長〉

本吉 幸二 (もとよし こうじ)
昭60年卒 経済学部経済学科

▼支部登録と「学園会」

創立してから12年がたちましたが、それまで会社内において開催されていた「学園会」もいれると44年になります。

学園会のスタートは昭和46年4月に始まります。最初は5名からでした。社内の小規模な仲間内による北海学園大学卒業生OBの集まりでした。

会社の成長とともに会員も右肩上がりに増加してきました。会員数の増加により、総会開催場所も限られるほどになりました(狭いところではできない)。

諸先輩の積極的な活動により大学同窓会の支部登録をしてから、いっそう活発な会となり、会員数も安定し、大いに盛り上がりました。

しかしながら近年は、景気の変動もあつてか、同大学卒業の新入社員も入社しない年もあり、支部会も開催されなかった年もあり、いま一つ盛り上がり欠けていました。

ところが平成26年度は、6年ぶりに新入社員が入社し、しかも3名入社し学園会は久しぶりの盛り上がりを見せました。

今後も、当社が学生にとって魅力ある会社であるとともに、卒業生の継続的な入社を望み、少なくとも毎年1名以上の入社が支部活動を盛り上げるのではないかと考えています。



支部総会・「学園会」会長挨拶 (H27.2)

▶大学同窓会結成60周年に思う

話は変わりますが、平成26年は、北海学園大学同窓会結成60周年の年であり、記念式典が開催され、当支部からも3名招待を受けました。式典は厳かに執り行われ60年の重みと先輩方のご努力が今の同窓会に繋がっていることを感じられました。

森本会長から同窓会の草創期の貴重なお話も聞くことができ、有意義な記念式典となりました。大学同窓会の発展とともに、当支部の発展も、一人ひとりの働きかけ無しに、発展は無いと考えずにはいられませんでした。

記念式典のあと、いつものように「同窓の夕べ」の開催となりました。

▶平成26年度支部総会とこれから

さて、平成26年度の学園会支部会開催の件ですが、平成27年2月に開催しました。2月23日18時より会社近くの宴会場にて、高田事務局長を迎え、総勢15名の開催となりました。

「平成26年度学園会」については、諸般の事情により開催が遅れていましたが、今回は比較的業務の落ち着いた2月に開催する運びとなりました。開催にあたっては、支部長からの会員への積極的な呼びかけもあり、幅広い年齢層が集う会となりました。開会に先立ち、当社学園会会長である矢野より、当会の設立趣旨と会の現状及び継続の重要性についての話がありました。

また、本学事務部より高田事務局長にご出席いただき、大学の近況などについての様々なお話もお聞きすることができました。

会の運営状況については、団塊世代の退職に伴い、一時65名超を数えた会員数も現在では41名にまで減少しております。この傾向は今後も続く予想されることから、会の求心力を危惧する面もありますが、末永くこの会が次世代へと引き継いでいくことの大切さを会員一人ひとりが再確認し、次世代を担う多くの会員から会の存続と繁栄のために一人ひとりが積極的に働きかけ、会の運営と組織固めに力を出さなければならないとの意見もでました。

今回は会員各人が自分より若い世代への参加を呼びかけ、今年度よりも多くの会員に出席を促し、更なる発展と飛躍への足がかりとすることを誓いつつ、支部草創の経緯に思いをはせながら、終始和やかな雰囲気の中に会が終了しました。

最後に、楽しいひと時の思い出として、高田事務局長を囲み会員で集合写真を撮り、「平成26年度学園会」はお開きとなりました。



支部総会
集合写真
(H27.2)

◆◆◆◆◆ 支部だより ◆◆◆◆◆

自衛隊支部再開！！

8月4日(火)午後6時から札幌市内のホテルノースシティにおいて、「平成27年度自衛隊支部総会・懇親会」が開催されました。

今回は同窓会事務局の高田哲也氏にもご来賓としてご参加をいただき15名の参加により活動再開となりました。

かつての懐かしい仲間が集い、これからも新たな絆を深めて参ります。

自衛隊OBの同窓の皆様のご参加をお待ちしております。



連絡先：自衛隊支部事務局 浅田
電話：090-8274-0745 FAX：011-583-4321

◆◆◆◆◆ 支部総会写真 ◆◆◆◆◆



写真部 OB 会



苫小牧支部



グリークラブ OB 会



山岳部 OB 会



千歳支部



岩見沢市役所支部



小樽支部



北海学園大学支部



帯広信用金庫支部



経五期会

支部総会開催報告	4.11	写真部 OB 会
	4.25	苫小牧支部
	4.25	グリークラブ OB 会
	4.25	山岳部 OB 会
	5.14	千歳支部
	5.15	岩見沢市役所支部
	5.16	小樽支部
	5.22	江別市役所支部
	5.26	北海学園大学支部
	5.30	帯広信用金庫支部
	6. 1	経五期会
	6. 5	静内支部
	6. 6	経六期会
	6.13	関西支部
6.13	空知支部	
6.13	サッカー部 OB 会	
6.19	北翔会	
6.26	道南支部	
6.28	蝸牛会	
7.16	札幌東区支部	
7.22	札幌市役所支部	
8. 4	東園会	
8. 4	自衛隊支部	

(平成27年4月以降)



静内支部



経六期会



関西支部



空知支部



サッカー部 OB 会



北翔会



道南支部



蝸牛会



札幌東区支部



札幌市役所支部



東園会

平成27年度支部総会開催予定（平成27年9月～平成28年3月）

	支部総会（予定）	場 所	連絡先
9月	経三期会（9/12）	ホテルノースシティ	会 長 宮崎 文彦 TEL：090-9526-6163
	ゆうほう会（9/27）	未定	総 務 村口 康博 TEL：011-884-3894
	稚内支部（中旬）	未定	事務局次長 熊谷 幹男 E-Mail：hokkaikuma@live.jp
10月	東京支部首都圏会（10/16）	マグナス TOKYO	支 部 長 岩井 久則 TEL：048-738-3761
	十勝支部	未定	幹 事 長 西俣 亘 TEL：0155-22-7612
	会計学友会	未定	事 務 局 長 桜田 久 TEL：011-728-0002
	経八期会	北海学園大学	会 長 田中 眞 TEL：011-764-9162
11月	旭川支部（下旬）	未定	支 部 長 齋藤 昂一 TEL：0166-57-4436
1月	豊陽会（1/7）	総 会：市立札幌大通高等学校 懇親会：ホテルロイトン札幌	事 務 局 長 高橋 昌宏 TEL：011-791-4171
	北門会（1/7）	市立札幌大通高等学校	事 務 局 長 山崎 誠 TEL：090-1387-7234
2月	木端会（2/19）	ホテルモントレー エーテルホフ札幌	事 務 局 長 濱川 俊久 TEL：011-708-0544
	北社会（2/20）	ホテルノースシティ	幹 事 長 三國 晃義 TEL：011-801-1576
3月	道庁支部	KKR ホテル札幌	幹事長代理 根津 涉 TEL：080-1895-8592

平成27年度 事業計画

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

本会の目的を達成するため、次の一般事業活動を展開するとともに、継続中の特別事業の学園創基・大学創立及び本会結成を記念した事業を継続推進する。

I. 一般事業

1. 会報の発行

豊平會報第75号・第76号を発行し、会員に送付する。

また、予備会員である在生にも配布する。

2. 支部などとの連携強化

地域支部・職域支部・同期会・クラブOB会などと連携を深め、支部活動や同期会・OB会活動を活性化するとともに、要請がある場合は「個人情報保護法」に基づき利用目的を明示したうえで会員の住所等の提供をおこない、支部支援を図る。

3. 新入会員名簿の作成

平成27年度新入会員(平成28年3月・平成27年9月卒業)名簿の作成、また、配付については、個人情報保護法との関連で見合わせる。

4. 新入会員歓迎会の開催

平成27年度新入会員歓迎祝賀会を、大学院・大学の卒業証書・学位授与式(3月20日(日・祝))終了後、大学・学生自治会と共催で開催する。

5. ホームカミングデーの開催

同窓会・大学共催によるホームカミングデーを、10月10日(土)開催する。(8回目)

6. 総会・懇親会の開催

本年度総会担当の世話人会を経済学部1部経済学科41期(平成6年卒)・48期(平成13年卒)同経営学科29期(平成9年卒)・34期(平成14年卒)・経済学部2部経済学科35期(平成3年卒)同経営学科23期(平成3年卒)・法学部1部30期(平成8年卒)同2部30期(平成8年卒)・工学部土木工学科30期(平成13年卒)・建築学科30期(平成13年卒)・電子情報工学科19期(平成21年卒)・人文学部1部日本文学学科18期(平成26年卒)・同英米文化学科18期(平成26年卒)同2部日本文学学科18期(平成26年卒)同2部英米文化学科18期(平成26年卒)及び体育会本部OB会、体育会OB連合会、文化協議会OB会、応援団OB会、クラブOB会、ゼミOB会、地域・職域支部等の協力により、10月24日(土)総会を開催する。

7. 母校行事への協力

予備会員である在生及びクラブの活動に対して助成をする。

十月祭等の学校行事を通じて、在学生との交流を促進する

II. 特別事業

1. 本会結成60周年記念事業が昨年度で終了いたしましたので、事業費の残額685,401円を教育支援特定預金に振替える。

2. 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金へ寄付を継続してきたが、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出ができる国際交流教育振興資金とすることとなった。本会としては引き続き国際交流事業を継続し、今年度100万円を国際交流教育振興資金に寄付する。(26回目)

3. 総合名簿作成事業積立金として、今年度20万円を加算積み立てする。

4. 平成2年より継続中の(仮)奨学・特別表彰積立金は、目標額を1億円及び名称を教育支援積立金と変更して事業を継続してきたが、近年運用果実が期待できず、また長引く経済不況で就学する学生にとって厳しい状況が続いているため、同窓会が同基金を取り崩し北海学園大学生の教育活動へ効果的な支出ができる教育支援特定預金とした。今年度200万円を加算積み立てするとともに、北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づき今年度228万円を奨学金として支出する。

5. 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、小委員会にて検討の上、作成作業を進める。

平成26年度 事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

I. 一般事業

1. 豊平會報の発行

豊平會報 第72号 送付 26. 4.14 経・営・法・人・工学部の住所確定会員40,980名に送付
豊平會報 第73号 印刷・送付 26. 9.10 経・営・法・人・工学部の住所確定会員42,707名に送付
26. 9.30 新会員(26年9月卒)本年度卒業の新会員105名に配布
豊平會報 第74号 印刷・配布 27. 3.21 新会員(27年3月卒)本年度卒業の新会員1,724名に配布
また、予備会員である在生(1年～4年)にも配布した。

2. 支部等との連携強化と育成(支部等活動状況～同窓会本部に連絡のあった分)

26. 4.17 千歳支部総会	26. 6.26 北翔会総会	26.10.25 経八期会総会
26. 4.26 苫小牧支部総会	26. 6.27 道南支部総会	26.11.14 北見支部総会
26. 4.26 グリクラブOB会総会	26. 6.29 鱒牛会総会	26.11.15 根室支部総会
26. 4.26 山岳部OB会総会	26. 7. 4 経五期会総会	26.11.21 旭川支部総会
26. 5. 9 岩見沢市役所支部総会	26. 7. 9 札幌市役所支部総会	26.12. 6 釧路支部総会
26. 5.10 小樽支部総会	26. 7.17 札幌東区支部総会	26.12. 8 豊陽会総会
26. 5.10 帯広信用金庫支部総会	26. 7.24 東園会総会	27. 2. 7 応援団OB尚志会総会
26. 5.17 写真部OB会	26. 8. 2 北門会夏季研修会	27. 2.20 本編会総会 (工学部建築学科)
26. 5.20 北海学園大学支部総会	26. 8.23 空知支部総会	27. 2.21 北社会総会
26. 5.30 江別市役所支部総会	26. 9. 8 ゆうほう会総会	27. 2.23 伊藤藤土建支部総会
26. 6. 6 静内支部総会	26. 9.13 経三期会総会	
26. 6. 6 経六期会総会	26. 9.17 稚内支部総会	
26. 6. 7 関西支部総会	26.10. 3 東京支部首都圏会総会	
26. 6.14 サッカー部OB会総会	26.10.25 会計学友会総会	

3. 新会員名簿の作成(豊平會報 平成26年度版)

平成26年度新入会員(平成26年9月卒業・平成27年3月卒業)名簿を作成し、なお、配布については、平成17年4月施行の「個人情報保護法」の取り扱いとの関係で、見合わせの事とし、慎重に対応していく事とした。

4. 新会員歓迎パーティの開催

27. 3.21 卒業証書・学位授与式終了後、新会員(1,724名)を招き大学・学生自治会と共催で、午後2時より札幌パークホテルB2Fパークプラザで、役員・支部長・評議員(卒業期・地域・職域)が出席し、卒業祝賀会を大学・学生自治会と共催で開催した。

5. ホームカミングデーの開催

26.10.11 同窓会・大学共催による第7回ホームカミングデーを開催した。
[第2回]「学園かえるカフェ」(BOP ビジネス入門)
話し手:菅原秀幸(経営学部教授)
聞き手:平野 研(経済学部准教授)
進行:樽見弘紀(法学部教授)
[「北海マルシェ」(産直野菜果物市場)、OB異業種ネットワークの協力支援により日本カイロプラクティック大学・専門学校札幌校の生徒による「無料カイロ施術」、写真部OB会による「写真展」、学生食堂を開放しての昼食の無料提供サービス等を実施し賑わった。

6. 「総会・懇親会」「記念式典・祝賀会」の準備・運営

世話人・協力団体会議 (第1回)	26. 8.21	(1)「同窓の夕べ」開催の件について (2)会券の配付について
(第2回)	26. 9.18	(1)「同窓の夕べ」開催の件について
総会・懇親会 60周年記念式典 60周年記念祝賀会	26.10.25 26.10.25 26.10.25	「札幌パークホテル3F パークホール」 「札幌パークホテル3F エメラルド」 「札幌パークホテル3F パークホール」(懇親会同時開催)

7. 母校行事への協力

お祝いの看板(祝入学) 27. 3.25 教育会館人口取付け
各団体への経費助成 十月祭・工学祭・対東北学院大学定期戦
全国大会出場・定期公演・演奏会等助成
体育会系14団体・文化会系9団体

8. 会務運営に関する諸会議

幹事会 (第1回)	26. 5.21	(1)平成25年度事業報告及び決算について (2)監査報告について (3)その他
(第2回)	26. 6. 4	(1)平成26年度事業計画(案)について (2)平成26年度予算(案)について (3)60周年記念事業について (4)教育振興資金(奨学金)について (5)その他
評議員会	26. 6.25	(1)平成25年度事業報告並びに取次決算の承認 (2)平成26年度事業計画(案)及び予算(案)の承認 (3)60周年記念事業について (4)教育振興資金(奨学金)について (5)その他
幹事会 (第3回)	26. 9. 4	(1)平成26年度「総会・懇親会」開催の件について (2)「同窓の夕べ」会券配付について (3)結成60周年記念式典について (4)「ホームカミングデー」開催の件について (5)その他
幹事会 (第4回)	27. 1.16	(1)「同窓会結成60周年記念式典」終了報告 (2)「60周年記念式典」(総会・懇親会)終了結果報告 (3)「第7回ホームカミングデー」終了報告 (4)平成26年度「卒業祝賀会」開催の件について (5)教育支援振興資金(奨学金)の件について (6)その他
常任幹事会 (第1回)	26. 7.31	(1)60周年記念式典・祝賀会・同窓の夕べの件について (2)教育支援振興資金(奨学金)の件について (3)ホームカミングデーの件について (4)記念誌の件について (5)その他
(第2回)	26.10.17	(1)60周年記念式典について (2)祝賀会・同窓の夕べについて (3)その他
(第3回)	27. 2.17	(1)役員選任について (2)評議員の改選について (3)その他
担当幹事会議 (第1回)	26. 4.18	(1)奨学金について (2)記念事業について (3)平成26年度事業計画(案)について (4)その他
(第2回)	26. 5.28	(1)奨学金について (2)記念事業について (3)平成26年度事業計画(案)について (4)その他
(第3回)	26. 6.17	(1)60周年記念式典・祝賀会について (2)60周年記念誌について (3)その他
(第4回)	26. 7.25	(1)60周年記念事業・同窓の夕べについて (2)教育支援振興資金(奨学金)について (3)その他
(第5回)	26.11.11	(1)会報第74号発行について (2)同窓の夕べについて (3)その他
(第6回)	26.12. 9	(1)教育支援振興資金(奨学金)について (2)その他
(第7回)	27. 2. 4	(1)役員選任について (2)評議員の改選について (3)その他
(第8回)	27. 3.12	(1)平成26年度卒業祝賀会について (2)その他
事務局会議 (第1回)	26. 4.17	(1)第1回幹事会開催について (2)「北海学園大学同窓会奨学金」について (3)「北海学園大学同窓会奨学金」について (4)「60周年記念事業」について
(第2回)	26. 4.28	(1)「評議員会」開催について (2)その他
(第3回)	26. 6.20	(1)「ホームカミングデー」開催について (2)その他
(第4回)	26.10. 1	(1)「60周年記念式典」・「同窓の夕べ」開催について (2)その他
(第5回)	26.10.23	(1)「卒業祝賀会」開催について (2)その他
(第6回)	27. 3.16	(1)「豊平會報」第73号発行について (2)その他
会報部会 (第1回)	26. 6.20	(1)「豊平會報」第74号発行について (2)その他
(第2回)	26.11.18	(1)60周年記念式典・祝賀会について (2)その他
式典祝賀委員会 (第1回)	26. 8. 5	(1)60周年記念式典・祝賀会について (2)その他
記念誌委員会 (第1回)	27. 1.30	(1)60周年記念誌発行(現況・今後)について (2)その他
学生部・事務部と協議	27. 2.24	(1)卒業祝賀会の件について (2)その他

II. 特別事業

1. 本会結成60周年記念事業推進のため、本年度100万円を積立した。
2. 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金へ寄付を継続してきたが、近年運用果実が期待できないため、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出ができる国際交流教育振興引当特定預金とすることとなった。本会としては引き続き国際交流事業を継続し、今年度100万円を国際交流教育振興引当特定預金に加算積立した。(25回目)
3. 総合名簿作成事業積立金として、今年度20万円を加算積立した。
4. 平成2年より継続中の(仮)奨学・特別表彰積立金は目標額(2,500万円)に達し、目標額を1億円および名称を教育支援積立金と変更して事業を継続してきたが、近年運用果実が期待できず、また長引く経済不況で就学する学生にとって厳しい状況が続いているため、同窓会が同基金を取り崩し北海学園大学生の教育活動へ効果的な支出ができる教育支援特定預金とした。今年度100万円を加算積立した。
5. 本会結成60周年を記念した、記念式典・祝賀会等を10月25日(土)開催した。
6. 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、小委員会にて検討の上、作成作業を進めた。

平成26年度 収支決算書

北海学園大学同窓会 平成26年度 収支決算書

自:平成26年4月1日 至:平成27年3月31日(単位:円)

Main financial statement table for 2014 (Heisei 26). It includes columns for '区別' (Category), '科目' (Item), '予算額' (Budget), '決算額' (Actual), '差額' (Difference), and '摘要' (Remarks). It is divided into '一般' (General) and '特別' (Special) sections.

1. 一般会計 119,245,250 (北洋銀行・普通預金) 2. 特別会計(予備金費) 120,900,000(北洋銀行・定期預金23年~26年) 予備金費受取利息・積立 ¥19,821(北洋銀行・普通預金) 3. 特別会計(特別事業) ¥56,768,671(教育支援特定預金積立・総合名簿作成事業積立(北洋銀行・定期預金) 60周年記念事業 ¥685,401(北洋銀行・定期預金)

監査報告書

北海学園大学同窓会 会長 森本 正夫 殿

平成27年5月11日

私ども会計監事は、北海学園大学同窓会の平成26年度(平成26年4月1日~平成27年3月31日)収支決算書について監査を行った結果、下記の通り報告致します。

記

- 1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支決算書の記載と合致していることを認めます。
2. 金銭出納簿、その他会計関係諸記録は、その状況を正しく示していることを認めます。
3. 事業計画に基づき業務遂行がなされ、また、幹事会も適切に運営・実施されていることを認めます。

監事

氏名 横谷 貞夫

監事

氏名 桜田 久

監事

氏名 高岡 昌和

平成27年度 予算

北海学園大学同窓会 平成27年度 予算

自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日(単位:円)

Budget statement table for 2017 (Heisei 27). It includes columns for '区別' (Category), '科目' (Item), '予算額' (Budget), '前年度予算額' (Previous Year Budget), and '摘要' (Remarks). It is divided into '一般' (General) and '特別' (Special) sections.

クラブ・サークル活動通信

卒業生、サークルOB・OGの皆さん、 応援よろしくお祈りします！

【柔道部】 主将 中尾 優太 経済学部経済学科 4年



北海学園大学柔道部は、現在4年生2人、3年生4人、2年生2人、1年生5人の計13人で活動しています。ほかの部活やサークルと比べてとても人数は少ないですが、皆講義の合間をぬって週6回の練習とトレーニング、また大小様々な大会や、他大学との合同練習に参加しています。

私たち柔道部は、これまで日本武道館で行われる全国大会出場を目標に活動してきましたが、今年ついにこれを達成し全国大会に出場できました。全国大会の結果は1名白星をあげることができましたがチームとしては負けてしまいました。そこから私たち柔道部は全国大会で一勝をあげることを新たな目標にして、これまで以上に厳しい練習やトレーニングを積んでいます。

日本のお家芸である柔道、全国の強豪校のレベルは非常に高く、現世界チャンピオンやメダリスト、全日本強化指定選手がいるチームもありますが我々北海学園柔道部は全国で本学の名前が轟くよう、精進していきます。これからも周りの方々や、OB・OGの先輩方への感謝を忘れず、精一杯頑張りますので、今後とも応援のほどよろしくお祈りします。

【ダーツサークル CLUB RIZE】

会長 佐藤 光太郎 法学部法律学科 3年



皆さん、ダーツは投げたことはありますか？

ダーツは、今まで投げたことがない人がほぼ多数だと思います。投げたことはあるとしても、数える程度。ではどこで投げればいいのか。そんな方は北海学園大学文化棟3階の部室へ遊びに来てください。そう、当サークルは道内初の、部室にダーツマシンがあるサークルなのです。しかも公式試合でも使用されている本格仕様のマシンです。公式試合、というワードに引っかかる方がいらっしゃいます。実は、ダーツは競技としても認められており、子供からお年寄りまで、世代を超えて楽しめる唯一の生涯スポーツとして人気急速に上がっており、プロ制度などもあって、ダーツを仕事として生活する人もたくさんいらっしゃいます。

そんなダーツを、趣味として、友達づくりのツールとして、プロを目指して、様々な目標を持った40人強の仲間とともに活動しているのが、我々ダーツサークル CLUB RIZEです。

主な活動内容は月1回程度行われる大きな大会に向けた日々の練習で、部室にこもり仲良く毎日ダーツを投げています。他にも練習会という、会員が集まり定期的に行うダーツの練習では、ダーツマシンが多く設置されているダーツショップや数々のダーツ場を貸切り行きます。なんとプロが練習会にいらっちゃって、ご指導を仰ぐこともあります。

北海道で一番盛り上がっているとんでもない、北海学園大学ダーツサークル CLUB RIZE。これから更に人気を博すであろうダーツを、私たちと楽しく始めてみましょう。

事務局からのお知らせ

◆支部長交替

岩見沢市役所支部

中山 章氏 ⇒ 瀬尾 裕明氏 (昭和57年経済学部卒業) 平成27年5月15日付

江別市役所支部

中川 雅志氏 ⇒ 吉岡 和彦氏 (昭和57年経済学部卒業) 平成27年5月22日付

北海学園大学支部

笹川 雅司氏 ⇒ 堀内 彰氏 (昭和56年経済学部卒業) 平成27年5月26日付

空知支部

佐野 秀幸氏 ⇒ 安藤 雄一氏 (昭和39年経済学部卒業) 平成27年6月13日付

リコージャパン支部

星川 治男氏 ⇒ 富澤 学氏 (昭和56年経済学部卒業) 平成27年6月17日付

◆訃報

瀧澤 嘉門氏

昭和38年経済学部卒業

同窓会幹事 (平成3年～平成27年)

平成27年8月10日逝去 (76歳)

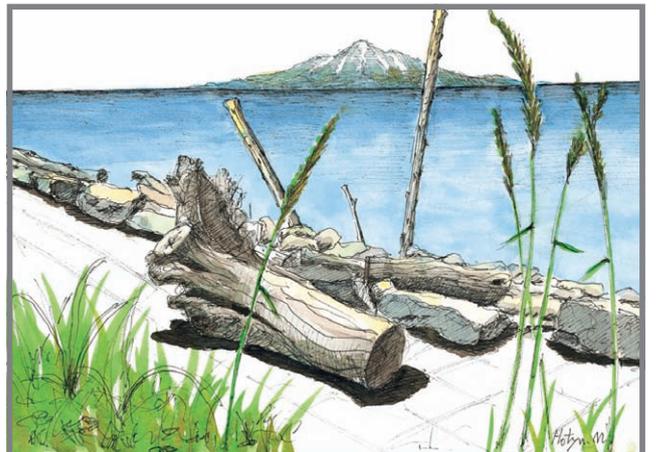
泉澤 宏昭氏

昭和42年経済学部卒業

写真部OB会前会長 (平成23年～平成26年)

平成27年8月10日逝去 (71歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



道内探訪 vol.5 スケッチ

「浜勇知より利尻富士を望む」(稚内)

中村 保忠 作

プロフィール: 経済学部経済学科 昭和41年卒業
奈良芸術短期大学 洋画コース卒業
奈良市在住

平成27年度 (下半期) 行事予定

10月	ホームカミングデー (10/10)
	全国支部長会議 (10/24)
	同窓の夕べ (10/24) (総会・懇親会)
3月	卒業祝賀会 (3/20)

住所等変更届けのお願い

会員の皆様へ、お名前、ご住所、勤務先等に変更が生じた場合は、お手数でもFAX・ホームページ、または同封の「住所等変更届ハガキ」にて同窓会事務局までお知らせ下さいませようお祈りいたします。個人情報保護法は同窓会活動以外には使用いたしません。

北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
TEL: 011-841-1161 (内線 1148) FAX: 011-816-1001
E-Mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp
ホームページ: <http://www.hgu-dousoukai.org/>